

交通ちば



VOL. 428 平成26年1月1日



千葉県交通安全活動推進センター
公益財団法人 千葉県交通安全協会



「交通安全県ちば」の実現を目指して

公益財団法人 千葉県交通安全協会

会長 安藤 峰 勇

明けましておめでとうございます。

皆様方には、平素より地域における交通安全活動に深い御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

こうした中、昨年の県内における交通事故は、発生件数及び負傷者数は減少しましたものの、186人（前年比+11人）の方が尊い命を失い、14年ぶりに増加に転じてしまいました。

さて、昨年6月、歴史と伝統ある県協会の会長職を仰せつかり、交通安全こども自転車大会、交通安全全県民大会など各種イベントに臨み、交通安全活動の一端に触れてまいりましたが、交通安全協会が交通事故防止のため果たしてきた活動内容を再認識するとともに、改めて公益法人としての社会的使命の重さを痛感したしたいです。

交通安全県民大会の大会宣言にも盛り込まれていますが、交通事故の根絶は、県民全ての願いであります。そのためには、県民一人ひとりが交通ルールを守り、正しい交通マナーを実践することが大切です。

このため、県協会では、県下44地区の交通安全協会と連携して、「みんなでつくろう交通安全県ちば」をスローガンに、四季の交通安全運動をはじめ、各

世代を対象にした交通安全教室の開催、自転車の安全利用の推進、飲酒運転根絶に向けてのハンドルキーパー運動など、多岐にわたる活動を展開して県民一人ひとりの交通安全意識の普及高揚に努めてまいりました。

つきましては、皆様方には本年も交通安全協会の活動に、より一層の御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の御健勝と御多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

「安全・安心日本」の千葉県」の実現を目指して

千葉県知事 森田 健作



明けましておめでとうございます。

千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会の皆様には、日頃から交通事故の根絶を目指し、職場や地域において、率先して交通安全活動に御尽力いただくとともに、県政各般にわたり、御理解と多大な御支援をいただいておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の交通事故死者数は、186人で一昨年と比べプラス11人となり、残念ながら、県が目指した「交通事故死者数アンダー170」という抑止目標の達成には至りませんでした。しかし、交通事故の発生件数・負傷者数は一昨年と比較し減少するなど、交通事故総量抑止における関係各位の御尽力に深く感謝申し上げます。

昨年は、交通事故死者数の約半数が65歳以上の高齢者で、このうち約6割が歩行者関連の交通事故という状況でした。また、昨年5月には野田市内において、小学校男児2人が自動車に跳ねられ死傷するという痛ましい事故が発生するなど、依然として交通事故多発県という汚名を返上できない状態が続いている。私たちの生活に自動車の存在は欠かせないものですが、その一方で、交通事故により人が傷つき、時に尊い命が失われることを考えると、大変心が痛みます。

加えて、残された御家族の方々の心中を察しますと、「今年こそ交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県を実現しよう」と思いを新たにする次第であります。

県では、今後とも「第9次千葉県交通安全計画」に基づき、四季の交通安全運動をはじめ、高齢者の交通事故防止対策、自転車安全利用に関する広報・啓発活動及び幼児から高齢者に至るまでの各段階に応じた実践的な交通安全教育など、各交通安全事業を積極的に推進してまいります。

交通事故を根絶するためには、日々交通安全活動に御尽力をいただいている関係機関・団体の皆様のお力添えが不可欠です。皆様におかれましても、地域の中から悲惨な交通事故をなくすという強い信念の下、幼児、各学生に対する交通安全教育、交通安全に関する広報・啓発活動及び街頭指導活動など、地域に密着した交通安全活動を展開していただき、「交通安全県しば」の実現に向け、なお一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会及び各地区交通安全協会のますますの御発展と、会員の皆様の御健勝、御多幸を祈念申し上げまして、新年のあいさつといたします。

「安全で安心できる交通社会」の実現に向けて

千葉県警察本部長 大山 憲司



新年おめでとうございます。

千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の皆様方におかれましては、御家族とともに希望に満ちあふれた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げ

ます。

皆様方には、平素より警察業務各般にわたり深い御理解と御協力を賜りますとともに、交通安全意識の普及高揚に向けて、地域に密着した交通安全活動に御尽

力されておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

さて、千葉県における平成25年中の交通事故情勢につきましては、交通事故発生件数及び負傷者数は、平成17年から9年連続の減少となつたものの、交通事故死者数は14年ぶりに増加し、186人（前年比+11人）と、残念ながら目標としていた「アンダー170」を達成することができませんでした。

昨年の死亡事故を見ますと、死者に占める高齢者の割合が全体の約半数にのぼり、その約8割が歩行中又は自転車乗車中の事故で亡くなっていること。四輪乗車中の事故で亡くなられた方のシートベルト非着用率が高いこと。飲酒運転による事故が後を絶たず、前年に比べて大きく増加したことなどが特徴として挙げられます。

また、昨年は、一昨年4月に京都府亀岡市内で発生した集団登校中の児童や保護者が無免許運転の車に次々と跳ねられ亡くなつた事故を契機とした、無免許運

転等厳罰化を求める世論の高まりを受けて、道路交通法の一部が改正され、無免許運転の罰則が強化されるとともに、無免許運転の者に車を提供したり同乗した者に対する罰則が新設されたほか、社会問題化している自転車の危険な利用を正すため、自転車が道路右側の路側帯を通行することが禁止されるなどの規定が設けられ、それぞれ12月1日に施行されたところであります。

県警といたしましては、これら新たなルールを含めた交通法規の周知とその徹底に努めるとともに、昨年達成を逃した「交通事故死者数アンダー170」を今年こそ必ず達成すべく、交通安全対策をより一層強化していく所存であります。皆様におかれましても、現下の交通情勢を御理解の上、「安全で安心な交通社会」の実現に向けて、地域における交通安全活動の中心的存在として高齢者に対する思いやりのある運転、全席シートベルト着用の徹底、飲酒運転の絶無を始めとした交通安全活動を引き続き積極的に推進していただきますようお願い申し上げます。

結びに、千葉県交通安全協会並びに各地区交通安全協会の益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝を心から祈念申し上げ、年頭のご挨拶いたします。

平成25年中の 千葉県の交通事故死者数 186人 (前年比+11人)

平成25年抑止目標 「アンダー170」達成できず

平成25年中の県内の交通事故死者数は186人で、前年に比べ11人増加しており、「交通事故死者数アンダー170」の抑止目標は達成することができませんでした。

死亡事故の大きな特徴は高齢者の死者が94人で半数を超えていることです。

（＊速報値ですので、修正されることがあります）

発生状況	区分	累計	前年比
発生件数	21,503件	- 1,428件	
死亡事故件数	184件	+ 13件	
死者数	186人	+ 11人	
負傷者数	26,874人	- 1,684人	

（人）

死者の状態別	区分	累計	前年比
歩行者	子供	3	+ 1
	高齢者	54	+ 9
	その他	20	- 5
自転車	子供	2	+ 2
	高齢者	18	- 2
	その他	9	- 1
一輪車	若者	6	- 1
	高齢者	7	+ 4
	その他	22	- 1
四輪車	若者	10	+ 3
	高齢者	15	- 0
	その他	20	+ 2
その他	0	± 0	

（人）

死者の多い都道府県	順位	区分	累計	前年比
愛知	1	愛知	219	- 16
兵庫	2	兵庫	187	+ 8
千葉	3	千葉	186	+ 11
静岡	4	静岡	184	+ 29
北海道	4	北海道	184	- 16
埼玉	6	埼玉	180	- 20
大阪	7	大阪	179	- 3
神奈川	8	神奈川	168	- 11
東京	8	東京	168	- 15
茨城	10	茨城	163	+ 21

* 全国の死者 4,373人（前年比38人減）

年間交通安全
平成26年使用
交 口 一 ガ ン

- | ◆ 運転者（同乗者を含む）に対するもの | | |
|---------------------|---------------------|------------|
| 最優秀作 | 発進は チャイルドシートの笑顔見て | 宮崎県 福島 重幸 |
| 優秀作 | お互いに もてたらいいね 思いやり | 長崎県 重村 京子 |
| 優秀作 | 知らせよう 早めのライト あなたから | 千葉県 上中 直樹 |
| ◆ 歩行者・自転車利用者に対するもの | | |
| 最優秀作 | いい老後 元気生きがい 交通安全 | 福岡県 江島 昭雄 |
| 優秀作 | 思いやり 乗せてゆっくり ふむペダル | 兵庫県 村岡 孝司 |
| 優秀作 | 身につけた？ ルールとマナーと反射材 | 島根県 飯塚友紀子 |
| ◆ こども部門 | | |
| 最優秀作 | にっぽんを じまんしようよ 事故ゼロで | 静岡県 川原崎大夢 |
| 優秀作 | 事故のない 明るい未来は 君の手で | 和歌山県 中西 未来 |
| 優秀作 | 黄色でも ぼくの気もちは 赤しんごう | 静岡県 江野 龍馬 |
| 優秀作 | 自転車は 子どもものるけど 車だよ | 静岡県 末永 紗花 |



横断旗の使い方を学ぶ交通指導員（習志野市の会場で）



熱心に耳を傾ける交通指導員（酒々井町の会場で）

学びました。また、活動時

の身だしなみや態度について県協会の浪川職員が手本を示しました。最後に、幹事協会からの活動事例発表など各会場共通の内容で、交通事故防止活動を行う地域のリーダーとして、約570人が熱心に

（公財）千葉県交通安全協会が主催する平成25年度交通指導員研修会が、11月12日、習志野市で行われたのを皮切りに、柏市、酒々井町、館山市で順次開催されました。新任の交通指導員が、交通事故防止活動の基本理念を理解し、街頭活動要領等を実践的に学ぶことを目的に毎年開催されています。

12月5日、酒々井町中央公民館で行われた研修会には、佐倉、成田、香取、铫子、山武、東金などの10地区から135人の新任交通指導員と、幹事安全協会の佐倉安協から68人の交通指導員が出席しました。

冒頭の主催者挨拶では県協会の佐藤常務理事と、開催地の佐倉安協の福原会長が、日ごろの活動に謝意を表わしました。研修会では、県協会の塚本総務部長が、交通指導員の任務及び活動要領について具体的な話を進めました。続いて、県警交通総務課の小川原担当官が、街頭活動の要領について話し、会場の参加者が前進み出て実際に横断旗を使い、横断歩道で児童を安全に渡らせる動きを真剣に

活動要領を実践的に学ぶ

平成25年度交通指導員研修会を開催

12月5日、酒々井町中央公民館で行われた研修会に

研修会では、県協会の塚



発行 公益財団法人 千葉県交通安全協会

ホームページアドレス
<http://www.chiba-ankyo.or.jp>

千葉市美浜区浜田2丁目1番

千葉県警察本部交通部運転免許本部内

電話 043-271-8481

賛助会員入会のお願い

公益財団法人千葉県交通安全協会は「交通事故のない、安全で安心して暮らせる千葉県」をつくるために各種の交通安全事業を行っています。当協会の活動にご賛同いただける個人又は団体に、賛助会員としての入会をお願いしています。詳しいことは右までお問い合わせください。